



## ロシア政府職員

### 練馬区のごみの収集や分別現場を視察！

とき 9月3日（火） 午前9時10分～午後3時

ところ 練馬清掃事務所、光が丘清掃工場、練馬区資源循環センター ほか

3日、ロシアの政府機関職員および民間企業者14名が練馬区を訪れ、区のごみ収集場での回収・分別作業などを視察した。

この研修は、外務省の対ロシア技術支援OJT研修事業として、東京二十三区清掃一部事務組合を通して練馬区に依頼があったもの。練馬区は小型家電の回収・有用金属の再資源化事業など23区でも先進的な取り組みを行っていることから、「ぜひ練馬区を視察したい」との要望があり、実現した。

午前中はごみ収集の現場や、光が丘清掃工場を視察。視察に訪れた人々は、作業員の収集作業の様子や、収集車にごみが収まる様子をカメラで撮影していた。清掃工場では、収集したごみを工場に搬入する様子や焼却中の様子などを、職員に熱心に質問しながら見学していた。

午後からは練馬区資源循環センターで、区の資源・ごみの分別やリサイクルの取り組みについてクイズ形式の環境学習を受講したり、資源循環センターの施設見学を行なった。

この日、午前中の研修を終えた男性は「日本のごみ分別・回収のシステムは素晴らしく、ロシアが学ぶべきことは沢山ある。分別には市民の協力が不可欠。練馬での視察の成果をロシアに持ち帰って、ごみの分別を市民に呼びかけていきたい。」と感想を話してくれた。



視察の様子（回収の様子）



説明する職員

#### 【視察内容について】

ロシアでは、ごみを焼却する清掃工場がないため、すべて埋め立て処理をしている。そこで、「日本の焼却施設やリサイクル施設を視察したい」という要望があり、光が丘清掃工場や練馬区資源循環センターを中心に視察することとなった。

[午前] 可燃ごみ収集現場・容器包装プラスチック回収現場や大規模集合住宅のごみ保管庫の視察、光が丘清掃工場の見学など

[午後] 環境学習（クイズ形式の分別体験デモンストレーション）、資源循環センターの施設や取り組みの視察（粗大ごみの再利用化の作業、廃食用油のバイオディーゼル燃料化装置など）

#### 【視察受け入れの経緯と目的】

（経緯） 日本政府は、ロシアにおける経済改革の促進に向けた技術支援の一環として、ロシア国内の3都市（モスクワ、サンクトペテルブルグ、ニジニー・ノブゴロド）に「日本センター」を設置しており、企業経営者などを対象に日本でのOJT研修事業を実施している。その一環で東京二十三区清掃一部事務組合を通して練馬区に研修依頼があった。

（目的） 大都市における廃棄物処理の実態や自治体のリサイクル施策の取り組み、地域住民の資源とごみ処理における協力姿勢の実例などについて視察や講義等を行い、ロシアの今後のごみ処理施策や資源のリサイクル施策の一助としてもらう。

#### 【問い合わせ】

環境まちづくり事業本部環境部清掃リサイクル課計画調整係

☎03-5984-1095